

2022 Vol.3 へのご意見・ご感想

このコーナーでは、編集部寄せられた読者の先生方からのご意見をご紹介します。

*『VIEW next』及び『VIEW21』教育委員会版のバックナンバーは、『VIEW next ONLINE』(<https://view-next.benesse.jp/>)でご覧いただけます。

●特集で、愛媛大学大学院・露口健司教授が指摘されている通り、働き方改革の目的が、労働時間を減らすことばかりに目が向き、子どもと接する時間を増やすという本来の目的が見失われているように感じます。働き方改革こそ、トップダウンや机上の論理で進めるのではなく、現場からのボトムアップで考える仕組みが必要だと思いました。(新潟県)

●特集の事例で、富山県南砺市教育委員会が行う柔軟な施策に驚きました。特に部活動の拠点校方式は、すぐにでも取り組めると感じました。規模が小さい自治体でも、自治体の枠を超えて連携すれば実現できそうです。子どもの願い・保護者の願い・部活動指導にやりがいを感じている教員の願いを満たしながら、教員の負担軽減にもつながる取り組みだと感じました。(長野県)

●本校ではメンターチームの運営に課題を感じていたのですが、特集の群馬県高崎市立塚沢中学校の記事を読み、解決の具体的なイメージを持つことができました。また、高崎市教育委員会が実施している教職歴の異なる教員による合同研修は、ぜひ取り入れたいと思いました。(山形県)

●特集では、愛媛県南宇和郡愛南町教育委員会の、管理職が教員一人ひとりにしっかり向き合い「職務の価値」「働くことの価値」「職場での自分の価値」を伝える取り組みが特に印象に残りました。それらの価値づけは、教員から子どもに対しても必要かつ有効だと思います。(青森県)

●特集では、チーム担任制やICT支援員、メンター制の導入など、それぞれの学校の工夫が参考になりました。今、学習や集団生活に困難を抱える子どもについて、時間をかけて話し合う機会がなかなか持てていません。担任1人では抱えきれないため、担任を分担制やチーム制とする必要があります。少子化と言われますが、子どもには一人ひとり手厚く指導する教育が望まれると感じています。(岐阜県)

●特別企画を読み、日本語教育が必要な児童生徒が想像以上に多いことに驚きました。教育委員会だけではなく、首長部局との連携が必要だと思います。また、これからはNPOなども連携し、その地域に合った支援を構築することが求められるので、記事のような事例を全国的に共有していく重要性も感じました。(東京都)

●連載「Leader's View」の静岡県浜松市・宮崎正教育長の話は、目指す姿に対して実践が伴っており、素晴らしいと感じました。特に、外国につながる子どもが多く通う小・中学校で、多言語翻訳アプリを使って言語の壁を越えた協働学習を行うなど、ICTを駆使した新たな教育活動に挑戦されている様子が印象的でした。(神奈川県)

●連載「データで教育を読む」は、学校経営方針やグラウンドデザインを策定する際に大変参考になりました。最近、「感染症対策と学びの保障の両立」や、『個別最適な学び』と『協働的な学び』の両立など、「両立」がポイントになっていると感じます。教職員の「働き方の改善」と「学びの充実」の両立も、しっかり考えていかなければならないと、強く思いました。(北海道)

●連載「実践事例で見る学びのnext」の石川県能美市立辰口中学校の実践はとても参考になりました。音楽科におけるICTの活用事例は、今後、学校へ指導助言をする際に役立てていこうと思います。(長崎県)

●連載「教委がつなぐ地域と学校」の茨城県牛久市教育委員会の取り組みは、働き方改革と関連づけられていて、コミュニティ・スクールの立ち上げに携わっている私にとって大いに参考になりました。コミュニティ・スクールを導入すると、業務が増え、より忙しくなるのではないかと考えている管理職や教職員に、意識を変える好事例として紹介したいと思いました。(新潟県)

編集後記

今号の特集を担当しましたが、GIGA スクール構想の次は、教育データの利活用だと、思いを新たにしました。データを利活用するには、学習eポータルやダッシュボード、AIの活用など、先端技術への理解も必要になります。そして、データの分析結果に基づいてAIから助言をもらうにしても、それを鵜呑みにせず、取捨選択して指導に生かせる力が必要だと実感しました。(広瀬)

VIEWnext 教育委員会版 2023 Vol.1

2023年4月5日発行/通巻31号

発行人	田村隆憲	お問い合わせ先	
編集人	柏木 崇	フリーダイヤル	
発行所	(株)ベネッセコーポレーション	0120-350455	
	学校カンパニー VIEW next 編集部	〒700-8686	
印刷製本	研精堂印刷(株)	岡山市北区南方3-7-17	
編集協力	(有)ペンタゴ		
執筆協力	二宮良太、長谷川敦		
撮影協力	加藤 武、岸 隆子、ヤマグチイッキ		

©Benesse Corporation 2023

※ Vol.2 の発刊は、2023年6月頃を予定しています。